



なか がわ たみ ひで
中川民英

にほんきょうざんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

県営水道の負担軽減を求めよ（長良川水系）

問 長良川水系の県営水道を利用しているため、高い水道料金となっている。長良川からの受水費が水道会計を圧迫しており、水道事業の健全化のためには長良川の水を返上すべきである。

責任水量制によるだぶつきなどの見直しをする必要があるのではないか。

また、県営水道の料金見直しに向けて、負担軽減を三重県に求めよ。

答 責任水量制は、三重県企業庁が受水市町との確認に基づいて必要な受水量の下限を定め、その水量に応じた料金を設定しており、この水量分は使用水量に関係なく一定の従量料金が必要となる。しかし、実際の使用水量は、責任水量を若干下回っている時期はあるものの、だぶついている状況ではなく、責任水量分はほとんど使用している状況にある。

また、県営水道の料金については、会議等機会あるごとに負担軽減の要望をしてきており、県政要望についても、昨年度に引き続き今年度も要望していく。

このような要望や具体的な協議等を通じて、県営水道を受水する他の関係市町とも十分連携を図りながら、さらなる負担軽減を強く求めていく。

●その他の質疑・質問●

- 高齢者の見守り強化について
 - ・認知症徘徊の対策充実を
 - ・支援策の周知を
 - ・見守りシステムを地域ぐるみの活動へ
 - ・孤独死・孤立死をさせないために対象者を把握せよ
 - ・見守りネットワークを公的責任で構築せよ
 - ・ライフライン事業者からの通報システムを など



▲高い県営水道の原因となっている長良川河口堰



いわ わき けい いち
岩脇圭一

いっ しん かい
一津会

公共施設データベース策定の進捗状況は

問 昨年度、公共施設データベースが取りまとめられたが、詳細な全容版の策定についてはどのような状況か。

総務省から国として公共施設の老朽化について情報を取りまとめるよう通知があったと聞かすが、津市のデータベースと違いはあるか。策定にあたっては、様々な統計情報を活用するとともに今後の計画を立てる上で必要な情報収集に努めてほしい。

答 公共施設データベースの作成により、施設のハード面の基本情報はおおむね把握できたが、今後は、それに加え、施設の性格、利用者の特徴や利用状況、設備の内容、運営コスト等のソフト面の情報を平成27年度までに積み上げ、総務省から全国の自治体に策定の要請がある公共施設等総合管理計画の作成につなげることができるよう進めていきたい。

また、公共施設等総合管理計画策定の指針においては、公共施設の老朽化・利用状況の現状把握、今後の人口推移を見据えた検討、中長期的な管理・修繕等に係る経費を計画に盛り込むべき内容としており、津市が策定を進めてきた公共施設データベースの内容と大きくずれてはいないものと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 子どもの貧困についての現状と対策は
- 大人の発達障がいに対する相談、支援の窓口は
 - ・子ども期から途切れのない支援を
- 木育の推進に向けて
 - ・木材利用に関する教育活動である木育について本市の考えは
 - ・みえ森と緑の県民税の活用を など



▲老朽化する施設のあり方を検討するための情報整理を